

「第2回“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	田崎校区を考える会
日時	平成26年7月4日（金）18時30分から20時まで
場所	川西公民館
参加者	田崎校区を考える会（駒崎睦男様外12名）、その他約80名 市長、副市長、市長公室長、建設部長、広報広聴課長
1 アルコール工場跡地の活用について	
<p>提案：アルコール工場跡地を、「エアーメモリアルかのや」や「農業まつり」の際の臨時駐車場として利用するだけではもったいない。消防出初め式を始め、市内で開催されているイベントをアルコール工場跡地に集約し開催してはどうか。</p> <p>また、イベントでの利用がない時はスポーツ広場として活用したらどうか、検討していただきたい。</p> <p>回答：日本アルコール産業株式会社としては、全敷地を売却したいという考えがある。このため、まずは鹿屋に進出したいという企業の情報収集を行い、何社かで分譲して利用するといった調整を鹿屋市が行っていかなくてはならないと考えている。</p> <p>また、イベントでの一時的利用については、利用の要望があればそれに応えられるように日本アルコール産業株式会社と話をしていきたい。</p>	
2 畜産レストランについて	
<p>提案：畜産のまち鹿屋を市内外に大きくPRするために、地元の食材を食べることができる畜産レストランを開設してほしい。</p> <p>回答：畜産レストランは非常に面白い話だと思っている。実は、北田に地元食材を提供する大きなレストランが開設される予定なので、期待していただきたい。</p> <p>また、市としては皆さんからのご提案を聴くだけでなく、いろんな形で事業化に向けて取り組んでいきたいと考えている。</p>	
3 母子家庭の市営住宅入居について	
<p>提案：母子家庭の方より、市営住宅は空き部屋があるのに入居させてもらえないという相談を受けたことがある。部屋が空いているなら、生活に困っている母子家庭を優先的に入居させてほしい。</p>	

回答：市営住宅は、母子家庭を含め生活困窮者や身障者や高齢者などといった弱者の方のためのものであり、母子家庭だけを優先的に入居させるのは難しい。

また、空き部屋については、住宅の建て替えや修繕などで一時的に避難してもらうため、政策的に空けているものや老朽化により住めなくなったものである。今後、子育てを行う世帯に対する支援については検討させていただきたい。

4 道路の新設について

提案：川西町の北郷地区に40戸程度あるが、そこに行くには1本道しかない。3年前の火災のとき消防車が来たが、ちょうど子供たちが帰る下校の時間であった。低学年の子供たちが、お母さんが迎えに来るだろうと学校をでたが、消防車が止まっていたことで母の車が出られず、非常に困ったことがあった。学習センターの方に昔の里道があるので、その整備をお願いしたい。

回答：今、車なしでは生活が成り立たず、宅地化の進行に道路行政が追いついていない部分もある。一方で、市の予算452億円のうち、道路関連経費は9億円で、維持補修が主業務となり、道路の新設はなかなかできていないのが現状である。広域的な利用が可能な路線でないかぎり、現状では新設の道路は難しい。

他に市内には救急車両が入れない所や急カーブで見通しの悪い所もあるため、そういったところを優先的に対策したいと考えている。

回答：この9億円をいかに効率的に使うかが大事。職員も道路の穴の補修や直営班による道路脇の草刈などを行っている。市としても道路行政については、緊急性、優先性を見極めながら実施しているので、何かあった際は声に出していただければ直ぐに現場を確認に行きたい。

5 道路の新設（ごみステーションの設置）について

提案：工業団地から途中で止まっている道路があるが、50メートルばかり買収して道路を通していただければ、工業団地から抜ける人たちが学習センターにまっすぐ行ける。実は、そこに住む人たちは、ごみを捨てるのにも県道に出てごみステーションまで持っていくといけない。家を出て100mで行き着く距離を、400～500m行かないといけないので、高齢者にとっては大変である。

解答：ごみステーションについては、ごみを出す家庭が20戸以上あれば設置が可能なので、御要望を出していただければ対応したい。

6 各町内会への整備基準について

提案：町内会への道路整備が、1町内会に1道路。防犯灯が1町内会に3基等と決まっているが、100戸の町内会と2,000戸ある町内会が同じ扱いになっている。町内会から払うものについては、1戸数あたりで要望がくるので、各種の整備についても町内会の戸数などの規模で分けられないか検討してほしい。

回答：現在、町内会への補助は均等割と世帯割で実施しており、防犯灯の補助の数など縛りもある。提案いただいた戸数に応じた割り方を行う方法もあるが、他の地域の町内会の理解が得られるか分からない。防犯灯など緊急に必要であれば、個別に相談をいただきたい。

7 川東地区へのAEDの設置について

提案：川東には大型店や公共施設がなくAEDもない。このような町内会がたくさんあると思うが、できれば公民館などにAEDを取り付けていただきたい。

回答：AEDの設置は救命率の向上に繋がっており、市内に235台程設置されている。AEDは電気ショックを与えるわけだが、心停止後2分以内であれば90%が蘇生するものの10分経過するとほぼ0%になる。また、AEDの電気ショックと同時に人工呼吸を行うことが重要であり、これが救命率を上げている。

公民館へのAED設置となると、夜間など鍵がかかっているときは使用できず、2～5分以内の使用を考えると、活用は難しいのではないかと考える。

町内会近隣へのAED設置については、152町内会のうち近くにない町内会が76町内会であるが、近くにあったとしても維持管理上、町内での緊急時の利用は難しいと考える。

町内で祭りなどのイベントを行う際は、鹿屋市保健相談センターでAEDの貸出をしているので、ぜひ活用していただきたい。また、消防でAEDや人工呼吸についても講習を行っているので、いざというときのために受講していただきたい。市職員にもマスターさせたい。

8 消防団員の保険について

提案：消防分団の保険について、水槽点検の草刈は公務災害が適用されるが、詰め所周りの草刈では適用されず、市がかけている総合保険を適用している。給付金の関係もあるので、詰め所周りの草刈でも公務災害を適用するようお願いしたい。

回答：市が独自に実施しているわけではないので、消防団員等公務災害補償等共済基金に確認をしたい。なお、鹿屋市民については、全員に総合保険をかけており、去年は8件の適用があった。

9 道路の拡幅について

提案：田崎と川東からの共通要望で、市道の川東川西線は本地域の唯一の路線道路であるが、地域をはじめ各方面からの通勤や通学の利用があり、県のアクセス道路とも直結している。

しかし、歩道がなく通学や地域住民の利用にあたり危険があるので、安心して道路を使えるよう拡幅を行っていただきたい。

回答：この道路を使わないと、通学等に200mから300mの遠回りになってしまうこともあり、通学生などの安全確保は必要だと考えている。道路の拡幅についてはなかなか難しいが、カラー舗装をすることで当面の安全対策を図りたい。

また、局所的に視界が悪いところなどは、個別に検討したい。

回答：カラー舗装等暫定的に出来ることと、併せて、警察等と一緒に大型車両の交通規制についても考えてみたい。